

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立大桐	中学校
--------	-----

生徒数	154
-----	-----

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	27.61	25.43	40.23	46.55		69.91	8.44	184.80	20.16	36.79
大阪市	29.00	27.45	41.55	51.39	409.58	84.05	8.10	189.74	20.39	41.00
全国	28.89	27.45	43.20	51.89	391.23	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11
女子	23.17	23.25	43.87	44.26		50.51	9.06	165.01	13.80	46.81
大阪市	24.11	23.81	44.70	46.89	303.77	57.92	8.95	165.67	13.06	49.27
全国	23.82	23.73	45.86	46.76	287.36	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97

結果の概要

男子は全体的に全国・大阪市を下回る結果になった。
 女子は全体的に下回っているもののハンドボール投げのみ上回っている。
 アンケート調査では、睡眠時間が7時間以上の生徒が全体の6割以上で全国・大阪市を上回っている。しかし食生活が安定していない生徒も全国・大阪市の平均より多く、体力の低下につながっている可能性が考えられる。
 全体的に運動は大切だと感じている生徒は多いが、進んで運動を行っている生徒は少ない。
 保健体育の授業では「友達と助け合ったり役割を果たすような活動を行っていますか。」という質問に対して、大阪市平均と比較し約10ポイント上回る結果となった。また、ICT機器の活用により、できる運動が増えたと実感する生徒が全国・大阪市を大幅に上回る結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

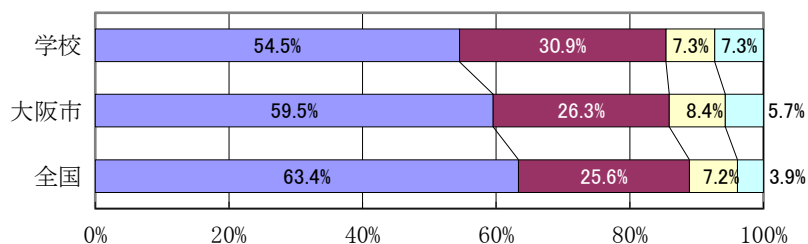
女子のハンドボール投げに関しては全国・大阪市の平均を共に上回っているので維持していきたい。
 男女とも授業の初めに体力向上のため、筋力トレーニングを取り入れているが、結果につながっていないのが現状である。食生活や生活習慣を見直すことにより、筋力トレーニングの効果をあげることで、授業内での運動量の確保や強度を見直していきたい。
 運動が苦手な生徒も多くいるが、協同学習を通じ、友達と助け合い、教え合いながら取り組むことができた。今後さらに、仲間と共に運動することの楽しさや協力して得る達成感を味わえる授業展開をしていきたい。また、ICTの利用により、運動ができるようになったと感じる生徒も増えてきているので、今後も活用していきたい。生活習慣に関して、睡眠不足や食習慣の乱れは深刻であり、改善が必要であるといえる。保健体育の授業で食生活、休養・睡眠の大切さなど必要な知識を習得させ、改善していきたい。

運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
1	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか
2	自分の体力・運動能力に自信がありますか。
3	あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。
4	中学校を卒業した後、自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。

1

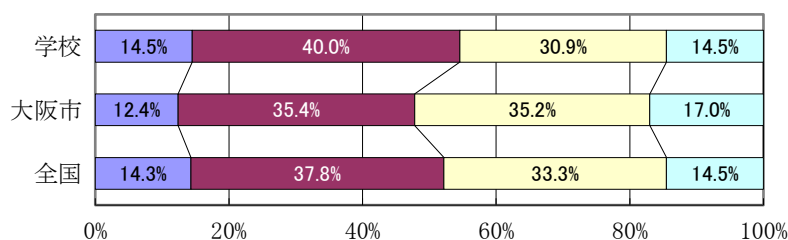
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



□好き
■やや好き
□やや嫌い
□きらい

2

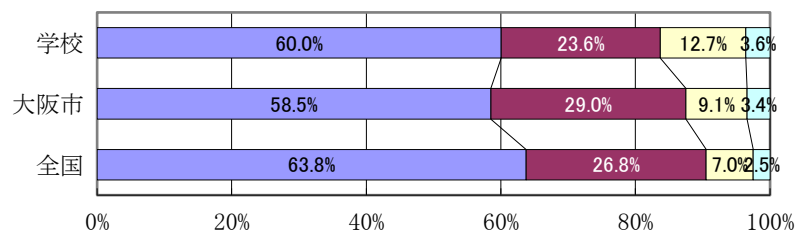
自分の体力・運動能力に自信がありますか。



□自信がある
■やや自信がある
□あまり自信がない
□自信がない

3

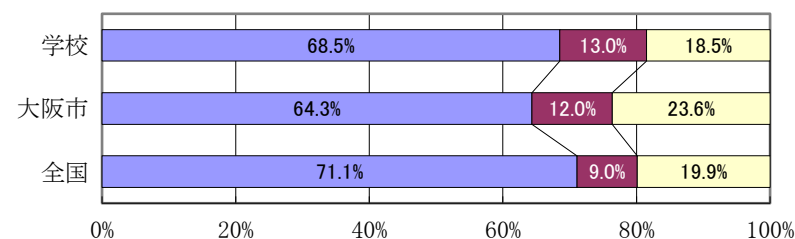
あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。



□大切
■やや大切
□あまり大切ではない
□大切ではない

4

中学校を卒業した後、自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。



□思う
■思わない
□わからない
□

成果と課題

スポーツが好き、やや好きと答える割合が85.4%と8割以上の生徒が好きだと答えているが、全国平均と比較するとやや低い。また、体力に自信がある生徒が全国平均よりも半数以上あり、やや上回っている。スポーツは大切だと答える生徒が83.6%と全国・大阪市ともに下回っている。また、卒業後に自主的にスポーツの時間をもちたいと思う生徒が68.5%と大阪市平均は上回っているものの、全国平均から見ると低くなっている。

今後の取組

体力に自信がある生徒が多い反面、スポーツをすることが好きで体を動かすことが大切だと答えている生徒が少ない。授業内で知識を習得させたり、運動する喜びや楽しさを味わうことで、今後、運動やスポーツが大切であるという認識を増やしていきたい。

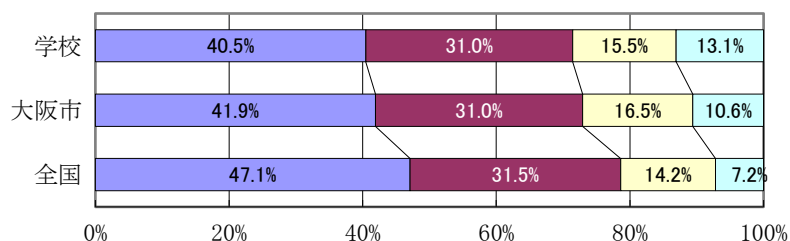
運動やスポーツについて（女子）

質問
番号

質問事項

1

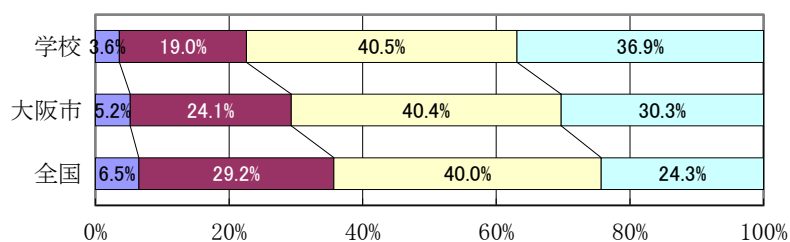
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



□ 好き
■ やや好き
□ ややきらい
□ きらい

2

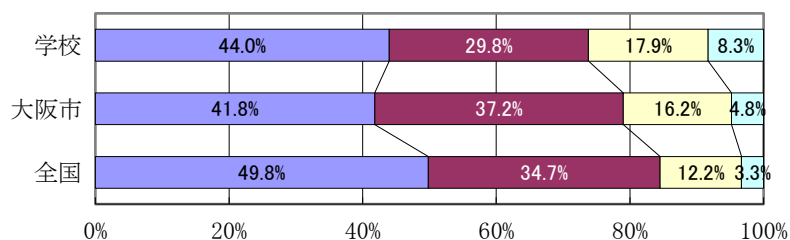
自分の体力・運動能力に自信がありますか。



□ 自信がある
■ やや自信がある
□ あまり自信がない
□ 自信がない

3

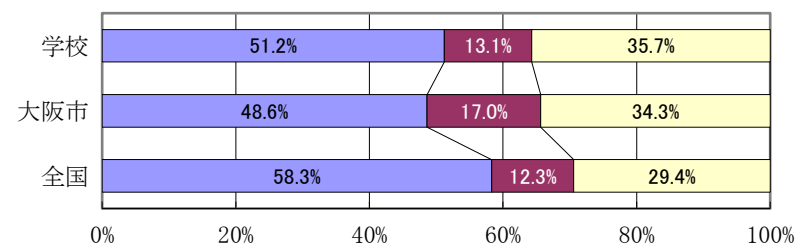
あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。



□ 大切
■ やや大切
□ あまり大切ではない
□ 大切ではない

4

中学校を卒業した後、自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



□ 思う
■ 思わない
□ わからない
□

成果と課題

質問に対して全体的に全国平均を下回っている。特に自分の体力・運動能力に自信はありますかという質問に対しては22.6%と大阪市平均の29.3%、全国平均の35.7%と比べて約10%近く差が付いている。

今後の取組

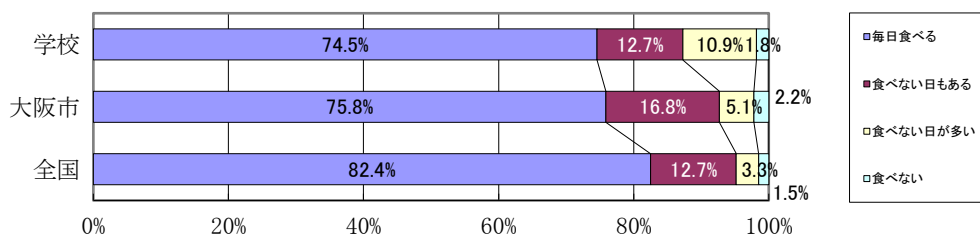
体力に自信がない生徒が多く、運動が楽しいと思う生徒も全国的に見て少ないため、授業の中で運動に対する楽しさや仲間と協力する喜びなどを経験し、運動に対する苦手意識を克服していけるような授業展開をしていきたい。

ふだんの生活について（男子）

質問
番号 質問事項

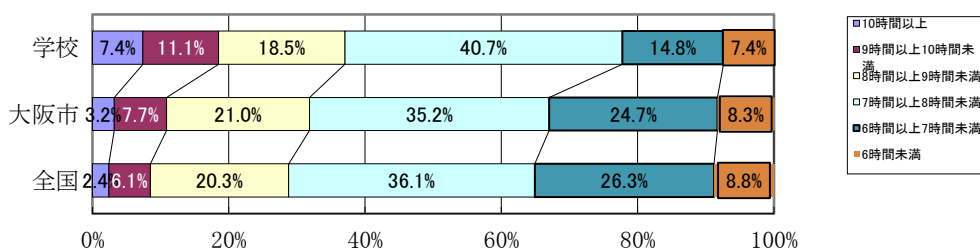
7

朝食は毎日食べますか(学校
が休みの日も含める)



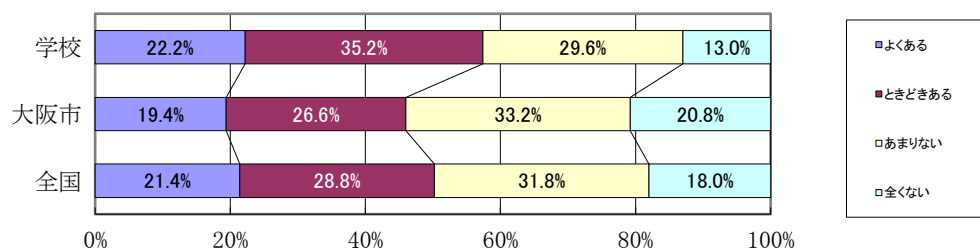
9

毎日どのくらい寝ていますか。



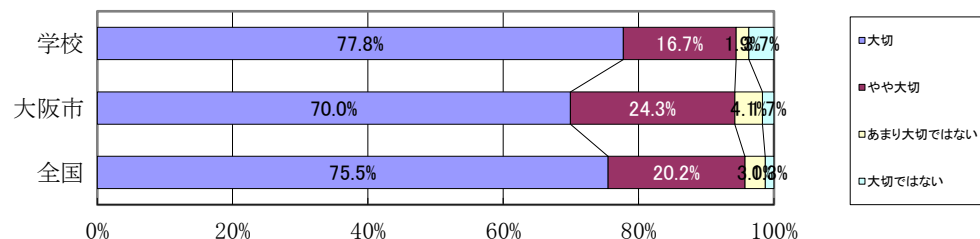
14

家の人から運動やスポーツを
積極的に進められたことはあり
ますか。



15

あなたが健康であるために
運動を行うことはどのくらい
大切だと考えていますか。



成果と課題

運動を進めている家庭は全国平均・大阪市平均と比べても高く、運動の大切さを考えている家庭が多い。また、健康のために運動が大事だと答える生徒が全体の9割以上いるが、全国・大阪市に比べるとやや低い結果になっている。

今後の取組

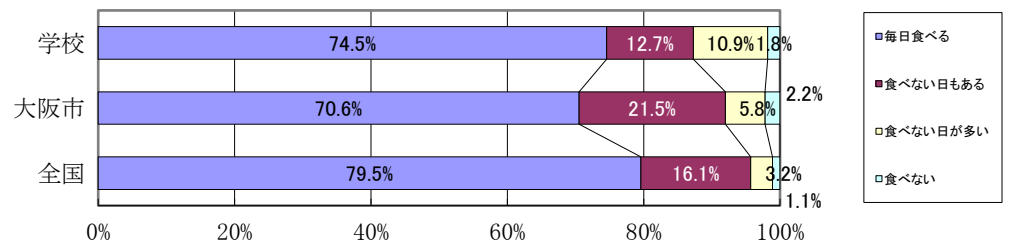
運動が大切だと考える家庭が多くあるが、保健体育の授業を通して、体力や運動には睡眠・食生活が大切だという知識をつけて、生徒自身が生活習慣を改善することが大切だと感じさせていきたい。

ふだんの生活について（女子）

質問 番号 質問事項

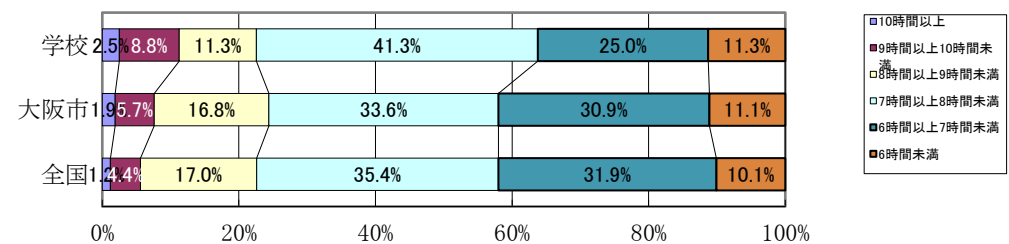
7

朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日も含める)



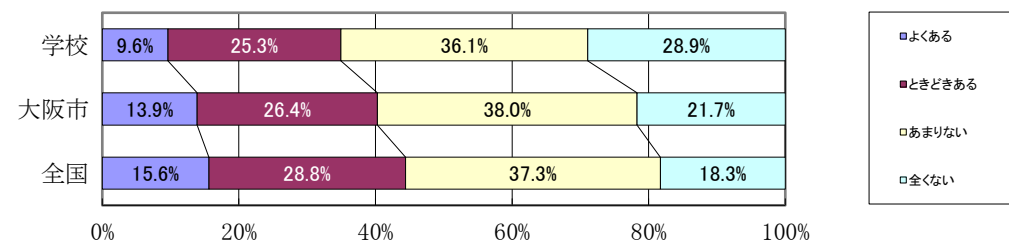
9

毎日どのくらい寝ていますか。



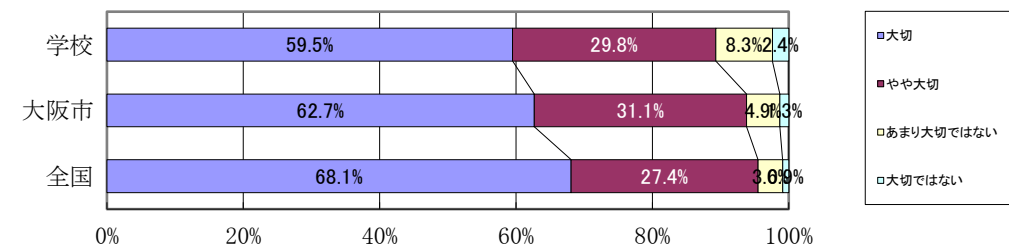
14

家の人から積極的に運動やスポーツを進められたことはありますか。



15

あなたが健康であるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食を毎朝食べると答えた生徒が全国平均と比べると低い。運動が大切だと考えている家庭は全国・大阪市の平均からみてかなり低い。また、運動は大切だと感じている生徒は全体の約6割ほどいるが、全国平均からみると低い。

今後の取組

運動に関する意識を改善していく必要がある。家庭としても運動を大切だと感じて家庭が少ないため、保健の授業を通して運動の大切さや生活習慣の改善などを呼びかけていきたい。

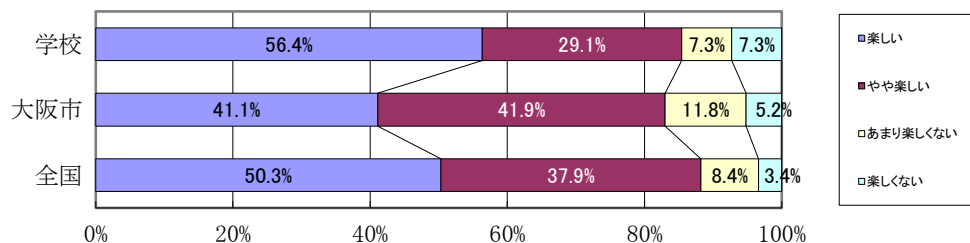
保健体育の授業について（男子）

質問
番号

質問事項

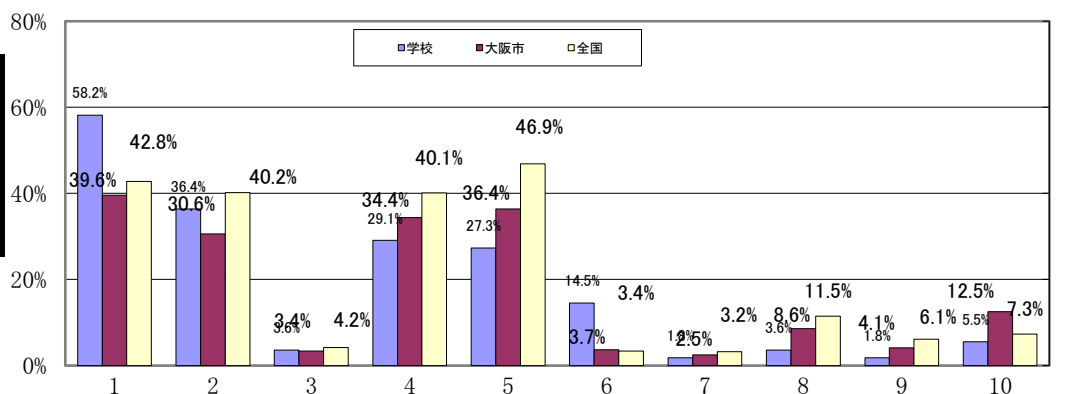
18

保健体育の授業は楽しい
ですか



23

これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった

3 自分に合った場やルールが用意された

5 友達に教えてもらった

7 授業外で先生に教えてもらった

9 授業外で自分で本やビデオを見た

2 授業中自分で工夫した

4 先生や友達のまねをしてみた

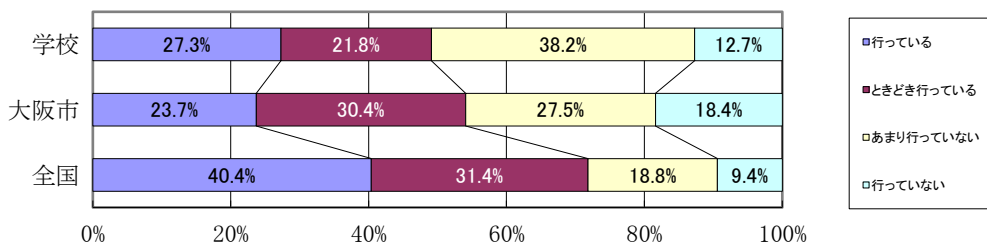
6 授業中に自分の動きをビデオで見た

8 授業外で自分で練習した

10 できるようになったことがない

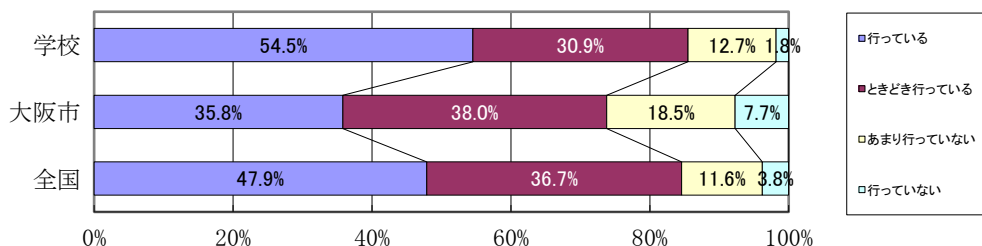
20

ふだんの保健体育の授業
では、授業の最後に今日
学んだ内容をふり返る活動
を行っていますか。



21

ふだんの保健体育の授業
では、友達と助け合ったり、
役割を果たすような活動
を行っていますか。



成果と課題

保健体育の授業が楽しいと答えた生徒が全国平均・大阪市に比べると高い。またふだんの保健体育の授業で、できるようになったきっかけは先生にコツを教えてもらったことが58.2%と最も高い。また、授業中に自分の動きをビデオで見てできるようになったと答える生徒が全国・大阪市平均と比べて約10%上回っている。

今後の取組

教員に教えてもらったり自分で工夫をすることで改善していることが多くあり、引き続き行っていきたい。また協同学習を通じて友達同士で助け合い、教えあうことが習慣づいている部分もあるので、その部分もより伸ばしていきたい。また、授業を通して振り返りの時間をしっかりと取ることで運動の理解や知識を深めていき、運動が苦手な生徒も技能の向上を目指していきたい。

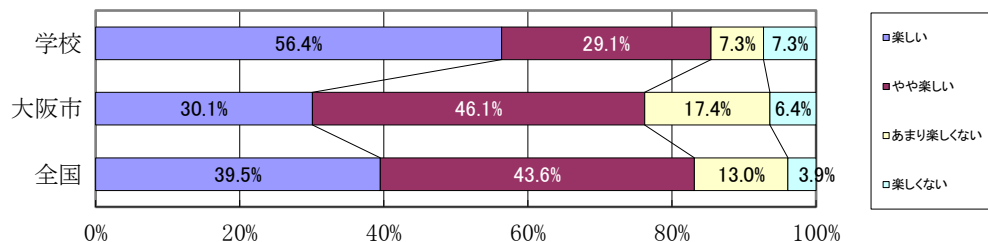
保健体育の授業について（女子）

質問
番号

質問事項

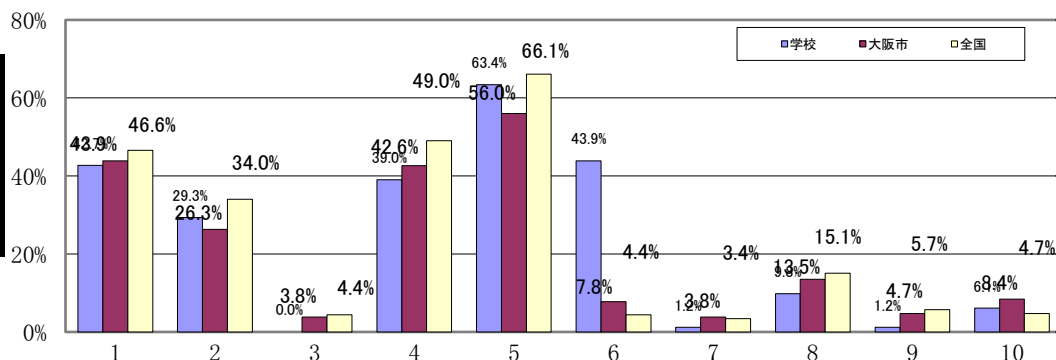
18

保健体育の授業は楽しい
ですか



23

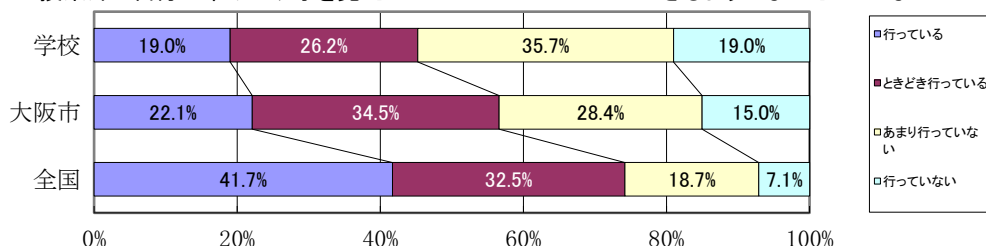
これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

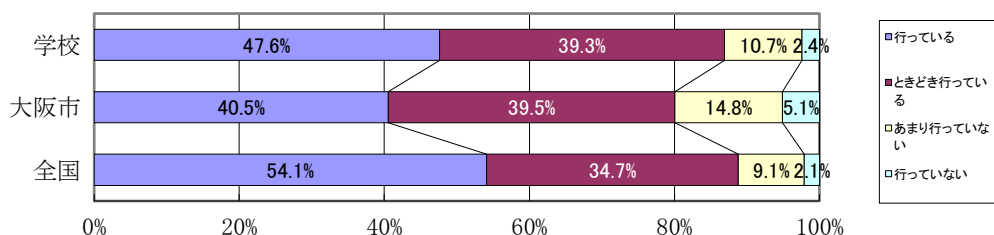
20

ふだんの保健体育の授業
では、授業の最後に今日
学んだ内容を振り返る活動
を行っていますか。



21

ふだんの保健体育の授業
では、友達と助け合ったり、
役割を果たすような活動
を行っていますか。



成果と課題

保健体育の授業が楽しいと答えた生徒が56.4%、やや楽しいと答えた生徒が29.1%と全体の85.5%が楽しいと回答していて、全国・大阪市平均より上回っている。また、運動ができるようになったきっかけとして、自分の動きをビデオでみたと答える生徒が43.9%と大幅に上回っている。保健体育の授業での振り返る活動は行っていると答えた生徒が19%、ときどき行っていると答えた生徒が26.2%と全体の45.2%が答えたが、全国平均から見て大きく下回っている。

今後の取組

ICTの活用により、できたと感じる生徒が増えているので、継続していきたい。また、授業を振り返る活動は少し下回っているので、授業の振り返りをより丁寧に行い、運動の知識、理解を深めていきたい。

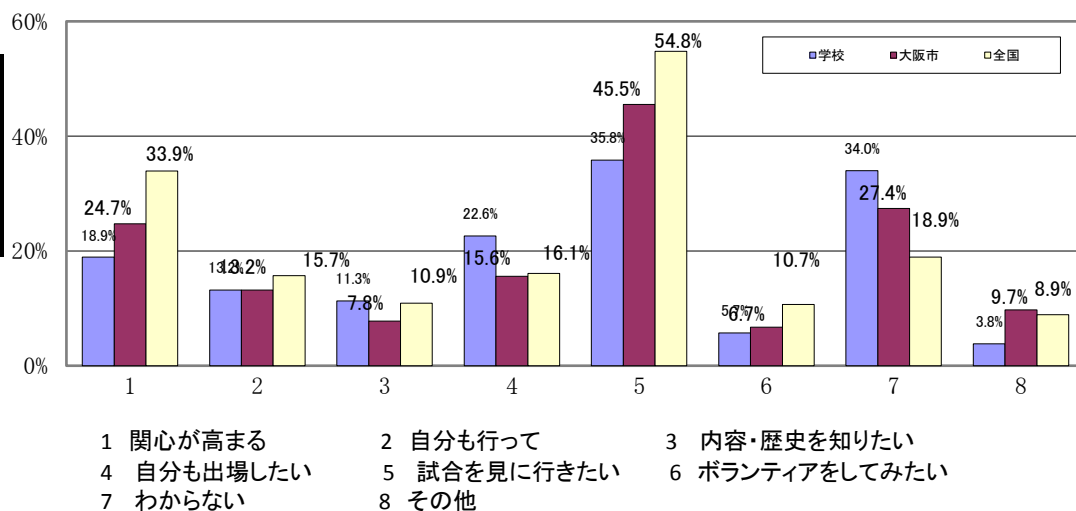
その他（男子）

質問
番号

質問事項

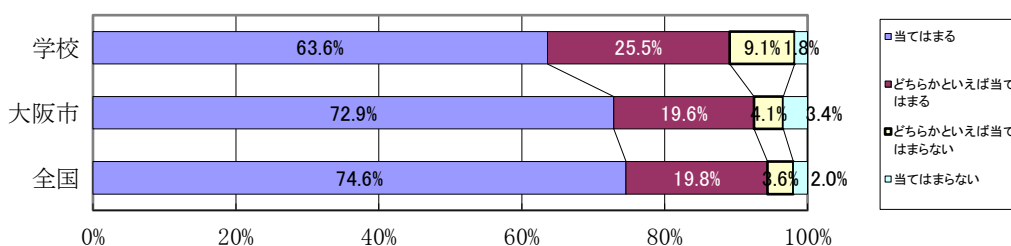
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



30

最後までやり遂げられてうれしかったことがある



成果と課題

オリンピックへの気持ちとして、自分も出場したいと思う生徒が22.6%と大幅に上回っている。また、最後までやり遂げられてうれしかったことがあると感じている生徒が89.1%いるが大阪市・全国平均から見ると低くなっている。

今後の取組

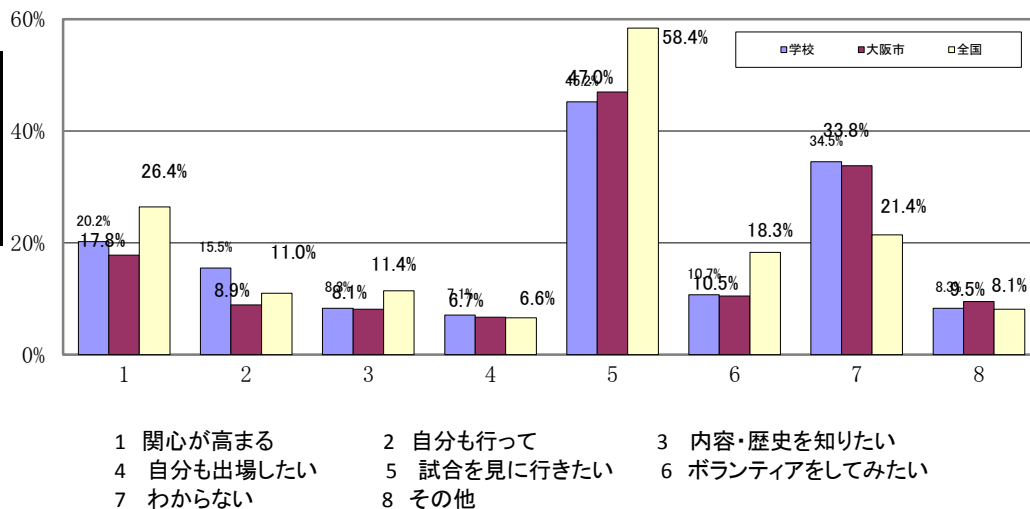
オリンピック・パラリンピックが行われる年だったので情報が入ってくることが多く、興味・関心のある生徒が増えた。これからもオリンピック・パラリンピックに関する情報を提供し、興味・関心を深めていきたい。また、授業の中で現在よりもより達成感や喜びを感じていけるようにしていきたい。

その他（女子）

質問
番号 質問事項

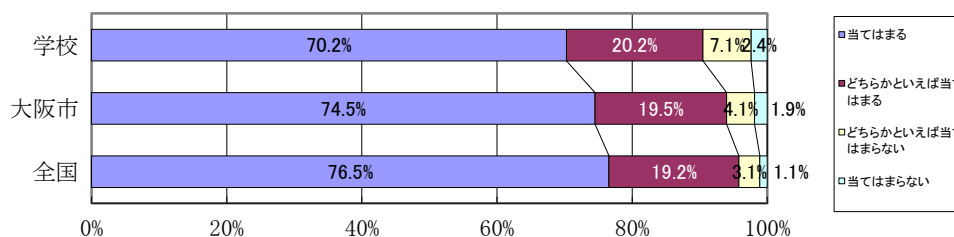
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



30

最後までやり遂げられてうれしかったことがある



成果と課題

オリンピック・パラリンピックが開催される年ということもあり、5番の試合を見に行きたいという関心は強まったものの、全国的にみると下回っている。また、わからないと答える生徒も多かった。また、最後までやり遂げられてうれしかったことがあると感じている生徒が90.4%いるが大阪市・全国平均から見ると低くなっている。

今後の取組

オリンピックやパラリンピックに関し、情報が入ってきやすい環境にあったため、興味・関心を持つ機会が多くあったので、これを定着させていくためにも授業の中でも情報を提供していきたい。また、授業の中で達成感をより味わえるような授業構成を考え、実行していきたい。